

凡當國ニチクマ川ト。號スル。二流アリ。一ハ此川ナリ。又一流ハ川中島ノ善光寺ノ東ノ方ニ流ル。ルヲ云。其川上ハ上田ノ城邊ヨリ流下リ。武田信玄ト上杉藤原ノ謙信トノ戰場。横田村陣ヶ瀬ナルヲ流過テ。善光寺ヨリ北布野ト云所ニテ。此筑摩川ト。一流ニナリテ。越後ヘ流行。古歌ニ讀タルハ此川ヲ云ナルベシ。此流ハ筑摩川ヲ流通ル故ニ。筑摩川ト書テ。チクマ川ト唱ル。

〔千曲之真砂ニ〕ちくま川 また筑摩川ともいへり

またつくま川とも讀り。いかなる故にか有らむ。この川筑摩郡には少しも據ざる川なるを不審の事也。松本城下より少し南に筑摩川といふあり。また筑摩の八幡なむども近所にあり。郡名の初なりといへり。然れども小川にして、中々歌の心とは相違なり。その川にあらざる事極れり。千曲川はその源甲州境佐久郡の南金峯山大日堂といへる片側より、涓々たる清水流れ出る。是川源なり。それより幾瀬ともなく落合々々て、佐久郡、小縣、更級、水内、高井の數郡を経て、下越後蒲原郡新潟に至り海に入る。凡百餘里となむ。

〔木曾路名所圖會四〕筑摩川 大河なり。流れ二つ、兩橋をかくる。千隈川、或は千曲川、また知具麻河とも書す。

水源は佐久郡金峯山の陰に出づ。はじめははつかに觴を浮ぶ。またひがし三ツの峯より出る梓川あり。いくらの上にて會ふ。佐久小縣の郡をつらぬき。河中島四郡の境を流る。また犀川は駒が嶽に出て、筑摩、安曇、更級、水内、の界を経て、筑摩川に落合。都てちくま河といふ。越後の新潟にて玄なの川ともよべり。

〔越後名寄川〕信濃川

國ノ中ヲ流ル。大河也。坂東ノ利根川、山州ノ淀川ニモ倍々セリ。凡水上ハ信州ノ筑摩川、犀川也。筑摩ハ甲州堺、犀川ハ飛驒國ヨリ出テ、川中島ヲ過、松代ノ城下ヨリ四里下、福島村ト長沼村ノ中